



見附小学校

生活指導だより

生活指導部
令和6年11月8日

8、9、10月の生活目標 みんなで協力してやりとげよう

8、9、10月の生活目標「みんなで協力してやりとげよう」の集大成として、郷育フェスタの音楽発表では、子どもたちの一生懸命な姿があふれていました。その土台には3年生の原案をもとに設定された全校スローガンがあり、それを具現化するためにそれぞれの学年、学級で設定した目標がありました。みんなで頑張りたいことを共有することで、「みんなで協力しながら、精一杯やってみよう」という姿につながったと思います。

こういった「みんなで協力してやりとげよう」という中で、「一生懸命だな」「すごいな」と思える友達の姿を、子どもたちはたくさん目にしたり、感じたりしたようです。郷育フェスタの音楽発表後にいただいた保護者の皆様のメッセージを拝読すると、目標に向かって励む子どもたちの頑張りを感じていただいたように思います。

そういった仲間の頑張りを言葉にして伝えることを大切にしていきたいと思い、11、12月の生活目標を次のように設定しました。



11、12月の生活目標 自分や友達のがんばりをみとめあおう

10月30日の生活朝会では、「がんばり」とは「一生懸命な姿」、「みとめあおう」とは「言葉にして伝えてあげること」だと子どもたちには説明しました。また、「一生懸命な姿」は、必ずしも「いい結果」として表れるわけではないということ、「失敗したとしても、目立たないかもしれないけれど、きちんと目を向ければ友達の頑張りは見える」ということを指導しました。「すぐに自分の考えをもって発言する人」もいれば「じっくり考える人」もいる、「みんなをリードする人」もいれば、「黙々と作業する人」もいる。学校の中には、そんな様々な頑張りが溢れています。

人よりもいい結果を出したり、人よりも優れた何かがあったりすることだけが頑張りでなく、過程や当たり前だと思える行動の中にも、友達や自分の頑張りがたくさんあることを知り、それらに目を向けられる人に育ってほしい、自分のよさや成長を実感してほしいと願っています。

ご家庭でも、お子さんの頑張りをぜひ言葉で伝えていただけると幸いです。



いじめを見逃さないために・・・



新潟県では、「いじめ見逃しゼロ県民運動」を推進しています。この県民運動は、学校・家庭・地域社会が連携しながら児童生徒の社会性を育成するとともに、「いじめ見逃しゼロ」に向けて、連携して児童生徒にかかわり、いじめをはじめとする生徒指導上の諸問題の解決や未然防止を目指すものです。嫌な思いをすることは、誰にでも起こり得ることで、大切なことは、いじめを見逃さないこと、早期に発見すること、組織的に対応すること、学校・家庭・地域が連携して対応することです。

10、11月は、県内の全ての学校でいじめを見逃さないための取組を実施しています。見附小学校では、いじめを見逃さない風土を醸成するために、「いじめ見逃しゼロ絆集会」、「いじめを見逃さない学級の合言葉の振り返り」を行いました。

いじめ見逃しゼロ絆集会

全校が集まった集会では、6月の「いじめ見逃しゼロ強調月間」で決めた各学級の合言葉を生活委員会が紹介するとともに、いくつかの学級の頑張ってきたことや達成状況をインタビューしました。

「優しく注意するようにしたよ」

「困っていることをみんなで解決するようにしました」

インタビューを受けた子の話を通して、どの学級もいじめを見逃さないように、絆づくりに励んできたことが伝わってきました。

集会の最後には、運営委員会のリードに合わせて、「見附小いじめ見逃し宣言」を全員で斉唱しました。生活委員会と運営委員会の子どもたちのおかげで、仲間との関係や関わり方について真剣に考える雰囲気醸成された集会となりました。



「ひとつ！ わたしたちは絶対にいじめをなくします！」
「ひとつ！ わたしたちは相手の気持ちを考えて行動します！」
「ひとつ！ わたしたちは悪いことは「悪い」と言える勇気もちます！」

いじめを見逃さない学級の合言葉の振り返り

集会後、それぞれの教室では、先生と子どもたちが共に意見を出し合いながら、学級の様子を振り返るとともに、誰にとっても安心できる居場所を目指して新たなめあてを決めていました。



子ども同士、時には意見が合わなかったり、時には傷つけたりすることもゼロではないと思います。相手の失敗を責めたり、相手より優位に立とうとしたりするとき、相手の心に寄り添えない言動をしてしまう傾向が、最近は大々あります。子どもたちの言葉を借りるならば、「あおられた」という言動です。しかし、そういったときには、学級担任が間に入りながら当事者同士話し合ったり、学級みんなで話し合ったりすることで、自身の言動を見つめ直し、学ぶ機会を大切にしてきました。人との関わりに関する知識と行動が合致して、望ましい関わりができるように、今後もすべて職員で子どもたちの指導、支援にあたっていきます。

しかし、いじめ見逃しゼロ県民運動のねらいの通り、そのためには家庭や地域社会との連携は欠かせません。ぜひ、「それはおかしいよ」「今のはいい言葉かな？」と、子どもたちと共に考え、正しい在り方を教える機会を、家庭、地域でも大切にさせていただきますようお願いいたします。

冬に向けたお知らせとお願い

朝晩の冷え込みも厳しくなり、日に日に冬の訪れを感じるようになりました。
これからの季節に向けて次のようなご協力をお願いします。
お手数をおかけしますが、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

服装について

現在行われている改修工事ですが、今後中庭と教室グラウンド側の塗装工事が行われる予定です。
塗装面への結露を抑えるために、例年使用しているガスヒーターを1月中旬頃まで使用することができず、当面エアコンを使用して教室の温度管理をしていきます。

教室が寒くならないように温度管理には十分注意していきますが、お子さんによっては、寒さを感じることもあるかもしれません。

つきましては、厚着をしたり、着脱しやすい上着を着たりするなど、教室内で体温調整がしやすい服装で登校できるようにお願いします。学校でも、体調に応じて教室内での防寒着、防寒グッズの着用を認めるなどの配慮をしていきます。



下駄箱用のぞうきんを1枚ご用意ください！

これから雨や雪の日が多くなってくると、濡れた靴や長靴によって下駄箱の中が濡れたり、水がたれて滑りやすくなったりしてしまいます。靴や長靴の下に敷いたり、廊下が濡れた時にすぐに拭いたりできるように、下駄箱用の雑巾を1枚ご準備ください。お手数ですが、記名をして、11月29日（金）までに学校に持たせてください。よろしくお願いいたします。

お子さんの希望に応じて雪遊びの道具をご準備ください！

雪が積もると、グラウンドや中庭で雪遊びをすることができます。その際は、上下の防寒具（防水性の高いもの）と手袋、長靴が必要となります。雪遊びができる程積雪するのはまだまだ先ですが、お子さんが雪遊びを希望する場合、持たせてください。

